

令和2年度 工業科（みらい系）

教科	工業	科目	電気実習	単位数	2	年次	3年次
使用教科書	なし						
副教材等	実教出版 電気・電子実習						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・実際に作業を通して電気に関する知識と技術を習得させる。
- ・今後の産業社会に生きる有為な人材に育てる。

2 学習の到達目標

電気に関する基礎的な技術を、実習作業を通して総合的に習得し、技術革新に主体的に対応できる能力と態度を育てる。単に技術・技能を身に付けるだけではなく、安全衛生や倫理観等の配慮について総合的に理解し、産業界を支える人材となることが目標です。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観 点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	基礎的・基本的な技術を身に付け、その技術を適切に活用している。	基礎的・基本的な知識を身に付け、工業の意義や役割を理解している。
評 価 方 法	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習製作品 観察記録表 レポート 自己評価・相互評価	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習製作品 観察記録表 レポート 自己評価・相互評価	学習状況の観察 実習製作品 観察記録表 レポート 自己評価・相互評価	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習製作品 観察記録表 レポート 自己評価・相互評価
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

月	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4 5 6	電気計測実習	<ul style="list-style-type: none"> 電力測定と正弦波交流 単相交流電力の測定 オシロスコープによる波形測定 オシロスコープによる位相差の測定 L,C回路のf-X特性測定 RLC直列共振回路の特性測定 	◎ ○ ○	◎ ○ ○	○ ◎ ○	○ ○ ○	a:計測機械の取り扱いや動作原理などに関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:実習の目的が理解できている。測定結果を考察し、導き出した考えを表現している。 c:計測機器の取り扱い・配線ができている。結果を分析する技術などを適切に身に付け活用している。 d:測定結果を理解し考察ができている。関連法則を理解している。	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習作品 観察記録表 レポート 発表 自己評価 相互評価
7 8 9 10	電子計測実習	<ul style="list-style-type: none"> ダイオードの静特性 トランジスタの静特性 トランジスタ増幅回路の特性 電界効果トランジスタ(FET)の静特性 電界効果トランジスタ(FET)の周波数特性 デジタルICによる基本論理回路 	◎ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:計測機械の取り扱いや動作原理などに関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:実習の目的が理解できている。測定結果を考察し、導き出した考えを表現している。 c:計測機器の取り扱い・配線ができている。結果を分析する技術などを適切に身に付け活用している。 d:測定結果を理解し考察ができている。関連法則を理解している。	学習状況の観察 ワークシートの記述 観察記録表 レポート 発表 自己評価 相互評価
11 12 1	電気機器実習	<ul style="list-style-type: none"> 直流電動機の始動と速度制御 直流発電機の特徴 単相変圧器の巻数比の測定と極性試験 単相変圧器の特性 単相変圧器の三相結線 	○ ○	◎ ○ ○	◎ ○ ○	○ ○ ◎	a:計測機械の取り扱いや動作原理などに関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:実習の目的が理解できている。測定結果を考察し、導き出した考えを表現している。 c:計測機器の取り扱い・配線ができている。結果を分析する技術などを適切に身に付け活用している。 d:測定結果を理解し考察ができている。関連法則を理解している。	学習状況の観察 ワークシートの記述 観察記録表 レポート 発表 自己評価 相互評価
2 3	電気工作実習	<ul style="list-style-type: none"> マルチバブレータの製作 簡易AMラジオの製作と受信実験 	○	○ ○	◎ ◎	○ ○	a:動作原理などに関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:実習の目的が理解できている。回路作成にあたり、適切に取り組んでいる。 c:回路配線ができている。結果を分析する技術などを適切に身に付け活用している。 d:作成回路を理解し考察ができている。関連法則を理解している。	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習製作品 観察記録表 レポート 発表 自己評価 相互評価

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。◎は、その中でも特に重点的に評価を行う観点である。